

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:2022年2月28日

事業所名: なかよし園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・基準よりも、子どもに合わせて多い職員を配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・専門家の指導を取り入れて、一人ひとりに合わせて、子ども達が過ごしやすいように環境づくりを行うようしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・感染症拡大防止のために、消毒や換気などにも十分に配慮している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・療育の計画の打ち合わせを行い、療育後は振り返りを行い、職員間で情報の共有を心がけている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・保護者向け評価表を実施して意向を把握したり、親の会役員会に参加し、保護者の思いや困り感の把握を行い、改善すべき点は改善している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・評価の結果をホームページに公表している。	・自己評価の結果を見直し、よりよいサービスや支援が行えるようにしていきたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・年間計画に添って実施し、質の向上に取り組んでいます。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・子どもの状態にあった検査方法で発達検査を実施し、事前に結果を保護者に確認してもらいながら、次期の支援目標・内容の設定をしている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・保護者及び各関係機関からの情報も得ながら、項目に沿って記載している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・定期的なアセスメントや専門療法士のアドバイス等をもとに、個々の子どもにあった支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・ケース会議の中で活動や教材の案を持ち寄り、協議したうえで療育に取り入れている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・子どもの発達段階、状態に合わせて内容の工夫をしている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・一人ひとりに合わせた対応が行えるように打ち合わせを行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・必ず、振り返りを行い次に繋げていく。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・全職員が、口頭での伝達および、記録の間覧等で情報を把握し、共有できるようにしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・保護者や相談支援専門員と一緒に、見直しを行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・市保健センター主催の発達相談会や、ブロック毎の会議に参加し連携を図っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・それぞれの関係機関との連絡会及び情報交換会を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・保護者と共に学校見学を行い、コーディネーターとの繋がりが持てるようにしている。また、保護者に丁寧なサポートを依頼し情報を共有している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・児童発達支援センター主催の連絡会や研修会に参加し、連携を取っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	・系列園との交流として、年間計画には行事として挙げている。	・コロナ禍の折り、今年度は実施することができなかった。今後は、状況を見ながら実施していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		・協議会開催の案内はないが、案内があれば参加したい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			・親子通園の強みとして、療育後は、おひいさまにも園々の子どもの様子を口頭で報告している。	・コロナ禍の折り、時間を取って報告できなかった。状況を見ながら、通常に戻していきたい。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・毎年、ペアレントプログラムを実施し、保護者と一緒に学んでいる。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・個別面談時に、支援計画の内容の説明を行っている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・日々の療育の報告時に相談を受けたり、個別面談等で提案・助言を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・親の会があり、定期的に会議を設定しているがコロナ禍の折り、多人数での会議が出来なかった。会長・副会長との打ち合わせを行い、連携を取っている。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・随時、相談を受けられる体制を取っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・毎月、園だよりを配布し、活動概要や行事予定表、その月に必要な情報を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・法人のプライバシーポリシーに基づき、保護者へは入園時に説明するとともに、関わる職員には誓約書を書いてもらっている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・直接口頭で説明したり、子どもとの関わり方を一緒に考えている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・計画は立てているが、コロナ禍の折り招待できなかった。今後は、状況に応じて行っていきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・火災・津波・地震・水害等、様々な非常災害の発生を想定した訓練を行っている。緊急時対応マニュアルを作成し、対応できるようにしている。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・非常災害計画の下、訓練もっている。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・入園時の面接時に聞き取りを行い、職員間で把握している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・入所時の面接の際にしっかりと職員が把握し、対応している。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・記録簿を作成し、職員間で閲覧・検証し、改善策を検討している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・毎年、講師を依頼し、事例を伴った研修を行っている。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			・親子通園のため、様子は参観してもらっている。今後は、児童発達支援計画に記載していきたい。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)